

## ライトトラップによる外来魚仔稚魚の捕獲 (概要)

Capture of larval and juvenile non-native freshwater fishes by light traps.

谷沢弘将,<sup>1</sup> 三浦正之,<sup>1</sup> 村井涼佑,<sup>2</sup> 竹内智洋,<sup>3</sup> 山本充孝,<sup>4</sup> 馬場真哉,<sup>5</sup> 増田賢嗣,<sup>6</sup> 坪井潤一<sup>6</sup>

<sup>1</sup> 山梨県水産技術センター, <sup>2</sup> 栃木県水産試験場, <sup>3</sup> 長野県水産試験場, <sup>4</sup> 滋賀県水産試験場,

<sup>5</sup> 帝京大学経済学部, <sup>6</sup> (国研) 水産研究・教育機構水産技術研究所

[報告誌名: 水産学会, 90, 220 - 227 (2024)] 2023年6月27日受付; 2024年1月16日受理.

<https://doi.org/10.2331/suisan.23-00030>

要旨: 国内4県9地点の湖沼河川においてライトトラップによる外来魚(オオクチバス, コクチバス, ブルーギル) 仔稚魚の捕獲試験を行った。青色LEDを点灯させたライトトラップにおいて18,409個体を捕獲し, 浮上初期ほど捕獲個体数が増える傾向が認められた。また, 透視度100 cm以下の環境においても捕獲され, 濁った湖沼でも駆除可能であることが確かめられた。本手法により, これまで困難であった外来魚仔稚魚の捕獲を少ない労力で効率的に行うことができた。ただし, 混獲を抑えるため設置の場所や時期を考慮する必要がある。